【IKSジュニアリーグ少年野球大会 大会規定】 緑帯改訂した部分

本大会は、最新版の全日本軟式野球公認規則・競技者必携及び、大会特別規則にもとづき運営する。

- 1. 得点差によるコールドゲームは、3回以降10点差、5回以降は7点差とする。但し、決勝には適用しない。
- 2. 悪天候その他の理由による正式試合(コールドゲーム)となる回数を4回とする。
- 3. 投手が、変化球を投げることを禁止する。
- 4. 危険防止のため投手の本塁投球時のホームスチールを禁止する。
- 5. ベンチは、抽選番号の若いチームを一塁側とする。
- 6. 球場内でのフリーバッティング及び、シートノックは認めない。但し、第一試合のチームに限り素振り・5分間のシートノック及びトスバッティング等のかるいバットを使用した選手の練習は認める。
- 7. 試合開始予定時刻前でも、前の<mark>早く</mark>試合が終了した場合には<mark>、前倒しして試合を開始することがある。</mark> (球場によって試合開始時刻が異なるので、十分に注意し事前に必ず確認する事。)
- 8. 試合開始予定時刻の30分前までに、試合会場本部にメンバー表を提出し受付を完了すること。 尚、試合開始予定時刻になっても来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- 9. 棄権したチームは、原則として次年度の参加は認めない。
- 10. 参加申し込み以降のメンバー変更は、原則認めない。ただし、止むを得ない事情がある場合は、試合日前々日までに事務局あて訂正した登録用紙を提出して同志会の承認を得ること。
- 11. 背番号は、主将10番、監督は30番、コーチは28・29番とする。 尚、大会規定と異なる背番号の場合は、登録申請時に申し出て同志会の承認を受けること。
- 12. 監督が不在で、代理者が務める場合は必ず試合前にその旨を本部に申し出て了解を得ること。
- 13. 試合中、登録選手以外にベンチに入れる人数は監督・コーチを含め6名までとし、<mark>監督(30番)・コーチ</mark> (28・29番)はユニフォームの着用、その他はユニフォームでないスポーツウェア等の着用をすること。
- 14. 登録選手以外の指導者が、試合中ベンチを抜けて出た場合の再入場は認めない。
- 15. 異球団の混成チームは、チーム強化の為等の誤解を受けぬよう十分に配慮することを前提に、混成を認める。この場合ユニフォームは統一しなくても良いが背番号は重複しないようにして参加すること。
- 16. 選手及び指導者がベンチ及びコーチャーズボックスでグランドコート等を着用する事を認める。 また、守備用及びバッティング用グローブ(野球専用の物に限り、軍手等は不可)の着用も認める。 ただし、グローブからの指出しは禁止とする。
- 17. 選手の重複登録は、如何なる場合も認めない。ただし、Aブロックの登録人数が12名以下の場合、同一 チーム内でBブロック登録選手をAブロック登録選手として重複登録することは認める。(ただし、上限20 名以内)
- 18. 試合時間

試合は6イニングまでとして、Aブロック90分以内 Bブロック75分以内の時間制限を設ける。 試合開始後 上記の時間を経過した場合は新しい回には入らない。

- 試合成立条件 雨天などにより試合の継続が困難になった場合、4回終了または試合開始からAブロック 1時間、Bブロック 50分が経過した場合は試合が成立したとみなす。なお、上記の条件以外はスコアに関わらず、ノーゲームとする。
- 19. 6イニングが終わり同点の場合は、特別ルール*による延長戦を最高2回まで行い、それでも同点の場合は抽選によって勝敗を決定する。ただし、決勝戦は決着がつくまで特別ルール*による延長戦を行う。また、悪天候や選手の健康管理上必要であると同志会が判断した場合は、引き分け再試合または抽選により勝敗を決定することができる。 ※特別ルール ノーアウト満塁、打順は前の回の続きからとする。

- 20. 三位決定戦は行なわず同率三位とし、優勝チームと対戦したチームが行進の際は前とする。
- 21. 審判対象試合は同志会及びブロック責任者の指示に従い、当該試合の前後のチームが各2名ずつ(成人に限る)要員を出し行うことを基本とする。参集時刻は事前に通告する。
- 22. 登録違反、不正処理、審判不協力、対戦チーム及び選手に対する著しい中傷的言動等があった場合、 同志会の判断により・失格・受賞の取消し及び、次回の参加資格の取り消し等を行なう場合がある。
- 23. グランドの設定は、Aブロック・・・投手⇔捕手間は16m、塁間は23m。

Bブロック・・・投手⇔捕手間は14m、塁間は21mとする。

- 24. グランドルールは、各グランドごとにグランド責任者が規定し、当該グランドで行なわれる試合は、担当審判がそのグランドルールに従い裁定を行なう。
- 25. 試合開催グランドの設営(トンボ掛け、ライン引き等)及び、グランド周辺の清掃、片づけはそのグランドを利用する選手、コーチ、監督、審判の全員で行うこと。

【Bブロックに関する特別ルール】

- 1. ボークに関しては、同一チーム1回までは注意とし、2回目よりとる。
- 2. イニングに関係なく得点差が15点になった時点でコールドゲームとし、負けているチームの守備についている選手で打順が回ってきていない選手がいる場合は、その選手全員を打席に立たせて終了にする。(記録・加点等はされない)

【その他】

- 1. 大会規定6. に関しては、大会進行上ブロック責任者の判断で変更及び禁止する場合がある。
- 2. グランド付近での練習は、原則禁止だがグランドにより練習可能な場所がある球場は指定場所にて練習を認める。(ブロック責任者にご確認のこと)
- 3. 先発バッテリーのファールエリアでの投球練習を、前試合4回終了時点又は試合終了30分前より認める。 (キャッチャーはプロテクターを全て装備し、監督またはコーチが必ず帯同すること。詳細/運用はブロック責任者 の指示に従うこと。)
- 4. グラウンド内での写真とビデオ撮影は認めるが、指導者以外の父母等が担当する場合は、必ず試合前にグラウンド責任者に申し出をして(1名のみ)チーム帽子等を被るなどし、サンダル履き・半ズボン・スカート着用ではない動き易い格好で行うこと。なお、撮影に関しては試合の妨げにならない常識的範囲の場所(ベンチより前で行わない)で行い、機材の破損及び撮影者の怪我等は全て自己責任とする。
- 5. キャッチャーはファールカップを使用すること。
- 6. 頭部へのデッドボールを受けた場合は代走を出すこと。なお、代走はデッドボールを受けた打者のバッテリーを除く前の打者とする。
- 7. 審判担当者のユニフォーム・短パン等の着用を禁止し、公認審判服 或いは トレーニングウェア等を着用する。